**（様式１：分野別）**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業申請書

申請の概要

1. 申請取組

***※　イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。***

***申請書の作成に当たって、本様式に示される表の行の高さは記述量に応じて適宜変更することができますが、極力、列の幅の変更はしないでください。***

***※　基本的に、事業実施予定期間全体の計画を記載してください。***

***※　本事業に関する学内規程（案）は別途添付してください。***

***※　記載内容はコンパクトにし、各項目1ページ程度に収まるようにしてください。***

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　　　称 | *※フェローシップの名称を記載ください。* |
| 申請分野 | 分野を選択してください　　　　*※プルダウン以外での記入は禁じます* |
| *上記で選択した分野以外の関連する研究領域があれば、記載してください。※研究領域は「大区分」「中区分」に則って記載してください。* |
| 支給対象学生数 |  |
| 申請対象専攻等の令和3年度入学予定者数(見込) | *○○研究科○○専攻　○人　（入学定員数△人）*  *○○研究科○○専攻　○人　（入学定員数△人）*  *※主たる専攻等がある場合は下線を引いてください*  *※４年制課程については令和3年度D2在籍予定者数を記載してください* |
| 実施予定期間 | 令和２年度３月～令和９年度  *※事業計画は7年1カ月間とし、令和8年度以降のフェローシップについては継続分のみ補助します。*  *※初年度(令和2年度3月)は、事務経費のみの交付となります。* |
| 取組の概要  （400字以内） | *※本事業により実施する取組の概要を簡潔に記載してください。*  *※取組内容は箇条書きで記載してください。*  研究力向上・キャリアパス支援に向けた取組：  *※２～３つ記載してください。*  キャリアパス確保に向けた取組：  *※２～３つ記載してください。* |

※支給対象学生数の上限は1分野・１学年につき40名とし、下限は６名とします。

※最大で分野指定型から各分野１件ずつ合計３件とボトムアップ型から１件、合計で

４件の申請が可能です。

注)フェローシップは、1名につき200万円～250万円とします(そのうち２/３を補助)

　注)事務経費は、1件につき1,800万円を上限とします(そのうち２/３を補助)

　 選定件数が複数の場合の上限額は以下のとおりとします。

　　　１件：1,800万円、２件：3,500万円、３件：5,000万円、４件：5,500万円

ただし、複数件選定された場合でも、支給学生数の総数により、以下の上限額となります。

１大学での支給学生数が全選定合計で１学年につき12名以下：1,200万円

１大学での支給学生数が全選定合計で１学年につき30名以下：1,800万円

１大学での支給学生数が全選定合計で１学年につき50名以下：3,500万円

１大学での支給学生数が全選定合計で１学年につき70名以下：5,000万円

**（様式２：分野別）**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業　申請書

|  |
| --- |
| 本事業の取組について |
| *※本事業の目的と大学の取組内容を以下の項目に沿って記載してください。*  *※必ず項目毎に記載し、項目の追加、削除は行わないでください。*  *※図表等を用いてわかりやすく記載してください。*  *※各項目1ページ程度に収め、簡潔かつ明瞭に記載してください。*  １．本事業の申請にあたっての大学としての方針や理念(全申請共通)  *※本事業を申請するにあたり、大学としてどのような点を重要と考えているのか、現状を踏まえたうえで大学としての方針・理念を簡潔に記載してください。*  *※全分野共通の方針や理念を記載してください。*  *※同じ文言を共通で全分野の申請書に記載してください。*  ２．フェローシップ制度の概要(申請分野ごとに記載してください)  *※貴学のフェローシップ制度の概要について、以下の項目に基づいて具体的に記載してください。なお、学内規程にて定めている場合には、その文言を抜粋し、記載してください。*  【●●型　●●分野】    ①．名称  *※貴学のフェローシップ制度の名称を記載してください。*  ②．フェローシップ制度の趣旨について  *※貴学のフェローシップ制度の目指すところについて、簡潔に記載してください。*  ③．支給予定者数について  ・フェローシップ支給予定学生数：　　　　　　　　人/学年  ④．学生１人当たりの支給額内訳について  ・　　　　　　　円（うち研究専念支援金：　　　　　　円）  *※フェローシップは1人あたり250万円が上限であり、そのうち研究専念支援金(生活費相当)が180万円以上であることが申請要件となっております。*  ⑤．フェローシップの申請資格について  *※フェローシップの申請資格について記載してください。*  *※学内規程で定めている場合は抜粋してください。*  ⑥．フェローシップの審査について  *※フェローシップの対象となる学生の審査方針や審査体制、審査時期等について、具体的に記載してください。*  *※令和３年度の審査方針、審査体制、審査時期は別途記載してください。*  ⑦．フェローシップ支給対象学生の義務について  *※本事業が博士後期課程学生の研究力向上という趣旨を持つことに鑑み、研究活動に関して支給対象学生が果たすべき義務(研究の取組状況等）及び義務履行状況を確認するための方法について、どのように定めるのか具体的に記載してください。*  *※義務が履行されなくなった場合の対応についても記載してください。*  ３．研究力向上・キャリアパス支援に関する取組(申請分野ごとに記載してください)  *※フェローシップの分野における研究力向上とキャリアパス支援に関する取組を記載してください。*  *※学生に対して実施する取組を記載してください。*  *例）関係機関との共同研究*  *メンターによる研究等支援体制の構築*  *企業での研究インターンシップ*  *企業関係者等外部の関係者を招いた研究発表会　　等*  ４．博士後期課程修了後のポストの確保・接続について  ①学生が修了後にどのようなキャリアパスに進むのか、具体的な目標を定めた上でのポストの確保・接続のための取組(申請分野ごとに記載してください)    *※博士後期課程修了後のポストについて、具体的な目標を記載してください。*   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 機　関 | | 人　数 | 具体的な業種・機関名・職名(自大学ポストの場合のみ) | | 自大学のポスト | | *○○人程度* | *ポスドク、育成助教* | | 外　部 | アカデミア | *○○人程度* | *他大学、公的研究機関* | | 民間企業等 | *○○人程度* | *連携する企業、コンソーシアム参画企業(△△社)、*  *○○業(△△社)、○○業(△△社)* | | その他 | *○○人程度* | *起業、海外ポスドク* |   ②キャリアパスを確保する取組(申請分野ごとに記載してください)  *※キャリアパス確保・接続に向けて、博士後期課程修了後のポストへの接続が期待できる企業・関係機関等との連携を通じたキャリア支援(インターンシップ、交流会)を実施してください。*  *※関係機関等との連携など、機関に対して実施する取組を記載してください。*  *例)研究に専念できるような自大学の育成ポスト(任期２～３年で、若手研究者の育成を行う「育成助教」等の制度)の確保*  *企業、関係機関等との連携を通じたキャリア支援（インターンシップ、企業関係者との交流会）*  *大学と企業とのコンソーシアム形成を通じたポストへの接続*  ５．事業実施体制(全申請共通または申請分野ごとに記載してください。)  *※事業を実施するにあたり、どのような人的体制とするのか具体的に記載してください。*  *※図表等を用いてわかりやすく記載してください。*  *※全申請分野を支援し、事業を実施する体制を記載したうえで、各分野専任の人員については、その旨記載してください。*  *※同じ文言を共通で全分野の申請書に記載してください。* |

|  |
| --- |
| ６．事業実施計画(申請分野ごとに記載してください) |
| *※事業実施期間中の年度ごとの事業実施計画について、資金規模と取組内容のバランスや実現可能な規模・内容となっているかを確認できるよう、具体的に記載してください。*  【フェローシップ支給学生数】   |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 年度  学年 | *※分野* | | | | | | | | R３ | R４ | R５ | R６ | R７ | R８ | R９ | |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |   *※各年度の取組を１～２つ箇条書きで記載してください。(以下は記載例)*  令和２年度：  *※事業実施に向けた体制整備*  令和３年度：  *※ポスト接続に向けて、企業等との連携構築*  令和４年度：  令和５年度：  令和６年度：  令和７年度：  令和８年度：  令和９年度： |

**（様式３：大学共通）**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業申請書

事務経費の所要見込額

１．所要見込額（全体計画）　*（機関全体の合計額を記入）*　　　　　　　　　　　　（円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 令和２年度 (１年度目) | 令和３年度  (２年度目) | 令和４年度 (３年度目) | 令和５年度  (４年度目) | 令和６年度  (５年度目) |
| 所要見込額 |  |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |  |
| 設備備品費 |  |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |  |
| 事業実施費 |  |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |  |

　　　　　　　　　　　　（円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 令和７年度 (６年度目) | 令和８年度  (７年度目) | 令和９年度 (８年度目) | 合計金額  （８年間） |
| 所要見込額 |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |
| 設備備品費 |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |
| 事業実施費 |  |  |  |  |
| 補助金額 |  |  |  |  |
| 自己負担額 |  |  |  |  |

注）記載の金額は、あくまで計画であり、毎年度交付される補助金額を担保するものではありません。また、令和3年度以降の補助金については、財政事情等により減額する場合があります。

２．令和２年度事務経費の所要見込額の内訳

機関名：

|  |
| --- |
| 事業計画 |
| *※当該年度の本補助金の使用計画について具体的かつ明確、簡潔に記載してください。* |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **所要見込額** | | 所要見込額の内訳 | |
| **補助金額** | **自己負担額** |
| Ａ 　　 　　　（円） | | Ｂ 　　　 （円） | Ａ－Ｂ 　　　　　 （円） |
|  | |  |  |
| 経費の内容 | 金額（円） | 積算内訳（円） | |
| 設備備品費 |  | * *記入例*   *【キャリアパス支援補助分】*  *・○○システム一式　○円* | |
| 人件費 |  | * *記入例* | |
| 事業実施費  （消耗品費）  （国内旅費）  （外国旅費）  （外国人等  招へい旅費）  （諸謝金）  （会議開催費）  （通信運搬費）  （印刷製本費）  （借損料）  （雑役務費）  （委託費）  （光熱水費） |  | * *記入例* | |
| **合計金額** | Ａ | （※うち自己負担額の合計　○円） | |

注１）自己負担額がある場合には、「積算内訳」欄に※印を付し、自己負担額を（　）書きしてください。

　２）所要経費については、公募要領の別表を参考にして経費別に見込み額を記入してください。

３．令和３年度事務経費の所要見込額の内訳

機関名：

|  |
| --- |
| 事業計画 |
| *※当該年度の本補助金の使用計画について具体的かつ明確、簡潔に記載してください。* |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **所要見込額** | | 所要見込額の内訳 | |
| **補助金額** | **自己負担額** |
| Ａ 　　 　　　（円） | | Ｂ 　　　 （円） | Ａ－Ｂ 　　　　　 （円） |
|  | |  |  |
| 経費の内容 | 金額（円） | 積算内訳（円） | |
| 設備備品費 |  | * *記入例*   *【キャリアパス支援補助分】*  *・○○システム一式　○円* | |
| 人件費 |  | * *記入例* | |
| 事業実施費  （消耗品費）  （国内旅費）  （外国旅費）  （外国人等  招へい旅費）  （諸謝金）  （会議開催費）  （通信運搬費）  （印刷製本費）  （借損料）  （雑役務費）  （委託費）  （光熱水費） |  | * *記入例* | |
| **合計金額** | Ａ | （※うち自己負担額の合計　○円） | |

注１）自己負担額がある場合には、「積算内訳」欄に※印を付し、自己負担額を（　）書きしてください。

　２）所要経費については、公募要領の別表を参考にして経費別に見込み額を記入してください。

　３）補助金を除く申請内容の実施に必要な経費は、審査の対象とします。

**(様式４：大学共通）**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業申請書

若手研究者支援の取組状況

|  |
| --- |
| 申請大学におけるこれまでの若手研究者支援の取組状況  *※若手研究者の雇用・育成のあり方について、中期目標・中期計画等で位置づけていれば、記載してください。*  *※これまでの若手研究者のポスト確保等(卓越研究員事業でのポスト提示状況等)に関する取組について、記載してください。*  *※これまでの若手研究者支援事業の実施状況と評価結果についても記載してくださ*  *い。* |